

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービスCONAOJ			公表日	令和8年 2月 15日
環境・体制整備		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	2	定期的に配置を変更等を実施しています。	基準は満たしていますが、お子さまの成長と共に設備は移してまいります。定期的な配置変更を実施し、スペースの確保に努めています。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の数配置は適切であるか。	6		基準より多い職員配置を実施しています。	理学療法士、言語聴覚士等、専門職の配置を今後検討していき、専門性の高い支援が出来るよう検討していけます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構成された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		玄関はバリアフリーにはなっていないが、中庭側の排き出し窓で対応可能となっている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		毎日、清掃、消毒、換気を実施し、過ごしやすい環境作りに努めています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		相談室を改修し静養室(クールダウンスペース)を確保しました。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参加しているか。	6		発達発達支援管理責任者のもと、話し合い全員で実施しています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		年に一回、保護者様に保護者向け評価の実施依頼を行い、業務改善に繋げていくようにしています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		日々、職員が意見を出しやすいようミーティングや会議等において時間を設けています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		6		法人内で、第三者評価の導入を今後検討していきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	6		事業所内で毎月研修を開催し、外部の様々な研修や勉強会に参加出来る機会を確保しています。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		玄関への掲示、ホームページに公表しています。	
適切な支援の提供	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		定期的に計画更新時にアセスメントを実施し、課題等の分析を行いサービス計画の作成に努めています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、発達発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最高の利益を考慮した検討が行われているか。	6		全職員で、支援会議を実施し計画作成に努めています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		全職員で、支援会議の間に共有を実施しています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		アセスメントシートを用いて、日々の行動観察等は、支援記録簿(ケース記録)に記録しています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		3領域を踏まえ、フィードバックや保護者様の要望も踏まえ、職員間で共有し、支援内容に活かしています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		日々、全職員で話し合い、検討して計画を立てています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		リーダー制を導入し、リーダーが中心となり、活動が固定化しないよう意見を出し合いながら活動プログラムを考えています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		ひとりに合わせて、個別活動の促進、小集団・集団での活動を組み合わせた計画の作成、支援を実施しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		毎日ミーティングを行い、前日の振り返りや当日の流れ、活動内容、役割分担を行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、良かった点等を共有しているか。	6		終了後のミーティングは難しい状況ですが、翌日の朝のミーティングにて実施しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		支援提供記録に、日々の記録をとり、改善に努めています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しとの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		定期的にモニタリングを実施し、計画の見直しを行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6			地域連携の機会の提供の機会を増やしていけるよう努めています。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		職員が、意思決定支援の研修を受講する等、お子さまが自己決定、意思決定をしてくれるよう支援の工夫・配慮をしています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参加しているか。	6		発達発達支援管理責任者が参加しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6			様々な関係機関と連携していけるように検討しています。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		定期的に学校との情報共有を実施しています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、発達発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解を進めているか。	6		発達発達支援からの移行の際には、情報提供書を頂き情報を持っています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供するなどしているか。	1	5		現在まで低価格がいらっしゃいませんが、今後移行が生じた際には情報提供を実施していけます。
	31	地域の発達発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		6		今後、必要に応じて助言・研修受講の機会を検討していきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		6		児童クラブとの交流は難しいですが、近隣の他事業所(放デイ)との交流を検討しています。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6		研修日には、可能な範囲で参加をしています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	6		保護者様、お迎え時や送迎時、連絡帳を通して情報交換を実施しています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	2	外部の研修については、お取りや、玄関に展示する等で情報提供をしています。	事業所内での研修等は現在実施出来ていませんが、今後研修を行う予定として、頂いたご意見は全職員で周知し、迅速に対応致します。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		契約時に、保護者様と書面の読み合わせを実施し、説明しています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもと保護者の意思の尊重、こどもの最高の利益の優先考慮の観点も踏まえ、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		協議の際に、保護者様のご意向、思いをお伺いしています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6		個別支援計画書の説明、保護者様の同意を得ています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、相談や必要な助言と支援を行っているか。	6		必要に応じて、面談の機会を確保しています。	定期的に面談の機会を確保していけるよう検討し、必要に応じて関係機関との連携に努めています。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	4	年に一度、保護者様、ご家族参加型の宴會を開催して、交流の場を確保しています。	現在、父母の会、保護者会は設置していませんが、今後保護者様のご意向に配慮しながら、必要に応じて検討していきます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			苦情があった場合には、苦情解決責任者を主として、頂いたご意見は全職員で周知し、迅速に対応致します。
	42	定期的に連絡等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		連絡を4回/年 インスタグラムにて情報を発信しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		鍵付き書庫で保管し、取り扱いに留意しています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			お子さまや保護者様に配慮した、情報伝達を心がけていきます。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		6	招請は現時点では実施出来ていませんが、近隣住民の方のご協力を頂き、役所依頼を実施する機会があります。	今後、事業所の行事を検討していき、地域の住民を招請出来るよう検討していきます。
非常時の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		全てのマニュアルを作成し、職員間で研修、訓練の実施に努めています。保護者様には、契約時に説明、玄関先にファイリングし周知しています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		年に一回以上、業務継続計画(BCP)研修、訓練を実施し、計画の見直し・修正を実施しています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状態を確認しているか。	6		契約時に、服薬、てんかん発作等の状態を確認し、変更が生じた際には確認を行っています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	2	契約時に、保護者様よりアレルギー調査票を記載いただき、対応しています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		安全計画を作成し、安全管理に定めた研修・訓練を実施し、見直しを行っています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られているう。安全計画に基づく助言等に関して、家族等へ周知しているか。	6			今後、保護者様にもご協力をお願いし、引き続き、訓練、連絡調整等対応していきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		ミーティング、会議等で職員間でヒヤリハット内容を共有し、再発防止に努めています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		事業所内での内部研修に加えて、外部の虐待防止研修に参加しています。	
	54	どのような場合にもやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記録しているか。	6		やむを得ず身体拘束の対応を実施しなくてはならない場合には、保護者様へ事前説明・同意、個別支援計画書への記載、記録の徹底に努めています。	